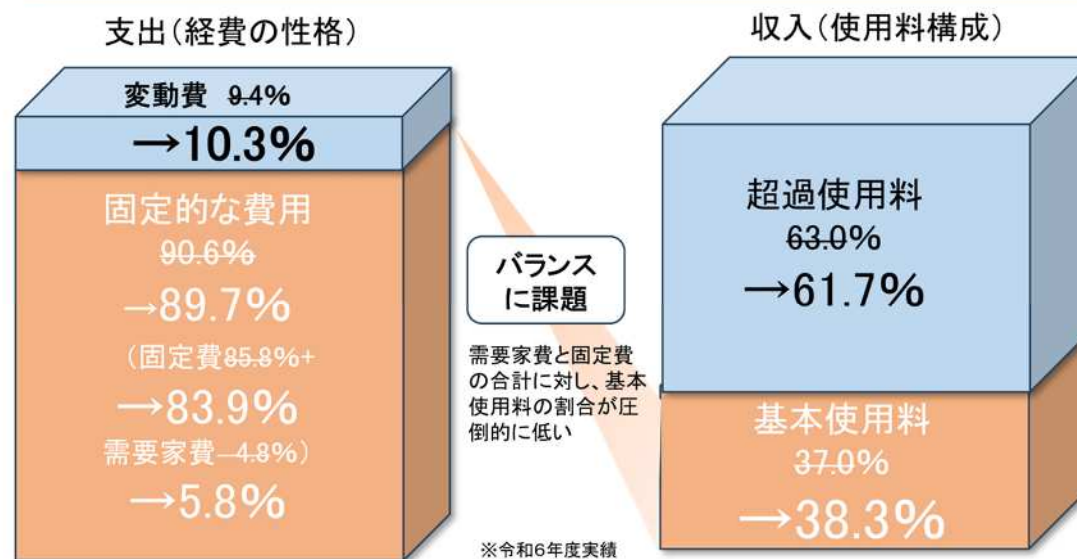


ポイント1 基本使用料の設定
(経営安定化に向けた基本使用料収入の検討)



下水道事業の経費は、施設の維持管理や減価償却費など、污水排除量に関わらず発生する「固定的な費用」(需要家費+固定費)が全体の9割を占めています。
人口減少による使用料収入の減少が見込まれる中で、将来にわたって安定的に事業を継続するためには、この高い固定比率に見合った形で、基本使用料の構成について見直しをする必要があります。